

平成 27 年度 事業報告書

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成 27年度 事業報告

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

当社は、みなとみらい 21 地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として、平成 21 年度から事業を開始しました。

これまでの間、会員の皆様とともにエリアマネジメント活動を実践し、その取組の中から地区の課題等を認識しつつ、着実に事業を推進してきました。さらに、今年度は、4 月 1 日に一般財団法人ケーブルシティ横浜（以下、「CCY」という。）と合併し、新たに電波障害対策事業等を事業に加えるとともに、情報発信にかかる取組を強化し、新たな体制でスタートしました。今後も当地区の更なる発展に繋げていくため、引き続き会員の皆様とともに「街をつくり・育てる」仕組みづくりに取り組んで参ります。

とりわけ、2020 年（平成 32 年）には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、当地区でも国内外からの多くの来街者を迎えるための取組を進め、効果的に情報発信することでこの街の持つ魅力を広く PR していくことが重要になります。

今年度の事業では、「防災対策」、「環境対策」、「情報発信」の分野を重視し、取組を進めてきました。「防災対策」においては、平成 26 年度に発足した防災エリマネ推進委員会での活動を本格化し、災害時の行動ルールの策定等に取り組ましました。「環境対策」においては、みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、テーマ別のプロジェクトチームを発足させ、緑化推進やエコ・モビリティの普及促進の検討などに取り組ましました。「情報発信」においては、外国人来街者に対応するためのツールの検討や、CCY との合併に伴うノウハウを生かして動画コンテンツ等を活用した情報発信に取り組ましました。また、会員や就業者の交流の機会の創出にも取り組んできました。

また、新たに加わった横浜都心電波対策事業においては、調査・対策を適切に実施し、広告・イベントスペース等運用事業においては、収益の向上に繋げるため、利便性や稼働率の向上に繋げる取組を検討・実施しております。

これら各事業の推進にあたっては、委員会や部会等の開催及び会員アンケートを通していただいた、会員の皆様からのご意見を踏まえ、情報共有を図るとともに、重要性や緊急性を考慮して限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、効率的な事業執行を行って参りました。

以下、平成 27 年度の事業執行状況をご報告します。

1 会員・役員・職員の状況（平成 28 年 3 月末日現在）

○会員 正会員：74 団体 準会員：9 団体 賛助会員：39 団体（計 122 団体）

○役員 理事：12 人 監事：2 人

○職員 20 人

2 基金の状況

2 億 8,500 万円

3 社員総会・理事会

○4月20日（月）平成27年度第1回理事会（書面表決）

- 第1号議案 正会員入会の件
- 報告事項1 賛助会員入会の件
- 報告事項2 会員退会の件

○6月10日（水）平成27年度第2回理事会

- 第1号議案 平成26年度事業報告及び決算の件
- 第2号議案 社員総会招集の件
- 第3号議案 社員総会の付議事項の件
- 第4号議案 経理規程改正の件
- 報告事項1 一般財団法人ケーブルシティ横浜 平成26年度事業報告及び決算の件

○6月25日（木）第7回定時社員総会

- 第1号議案 平成26年度決算計算書類の件
- 第2号議案 理事選任の件
- 報告事項1 平成26年度事業報告の件
- 報告事項2 平成27年度事業計画及び収支予算の件

○6月25日（木）平成27年度第3回理事会

- 第1号議案 公益目的支出計画変更認可申請の件
- 第2号議案 正会員入会の件

○11月27日（金）平成27年度第4回理事会

- 報告事項1 平成27年度上半期事業及び予算の執行状況の件
- 報告事項2 賛助会員入会の件
- 報告事項3 公益目的支出計画変更認可申請の経過報告の件

○3月29日（火）平成27年度第5回理事会

- 第1号議案 平成28年度事業計画及び収支予算の件
- 第2号議案 役員報酬の件
- 第3号議案 定款第35条に関する取引の承認の件
- 報告事項1 平成27年度事業執行状況の件
- 報告事項2 会員の入退会の件
- 報告事項3 公益目的支出計画変更認可申請の経過報告の件

4 事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメントを推進しています。（詳細は次頁以降に記載しています。）

- (1) エリアマネジメント推進事業
 - ア 街づくり調整事業
 - イ 環境対策事業
 - ウ 文化・プロモーション事業
 - エ その他事業（会員交流事業）
- (2) 横浜都心電波対策事業
- (3) 広告・イベントスペース等運用事業

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。

○ 安全・安心な街づくり

◇みなとみらい21地区における地震対策の推進

10,000 千円

【企画調整部・総務部】

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区の災害に強い街としての強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靱な『安全・安心な街』の実現を目指します。

平成27年度は、26年度に発足した「みなとみらい21防災エリマネ推進委員会」での検討や活動を本格化するとともに、27年3月策定の「みなとみらい2050プロジェクト・アクションプラン」も踏まえ、地区内での情報受伝達体制の強化や帰宅困難者対策等の取組を具体的に推進します。

① 『災害時の行動ルール』の策定

情報拠点の運営方法や帰宅困難者・滞留者等への対応に関する当地区としての共助の仕組みである『災害時の行動ルール』の策定等を進めます。

- ・『災害時行動ルール』の策定（情報拠点の運営方法、帰宅困難者等への対応等）
- ・情報拠点の機能強化（多様な情報受伝達方法の検討・導入等）
- ・災害時の医療機能の確保に向けた検討
- ・防災情報の発信機能強化（外国人への情報受伝達ツールの充実、防災マップ等防災コンテンツの充実、報道機関等との連携等）

② 合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、消火器の使い方や応急手当、心肺蘇生法等を実践体験し、非常時の心得として活用すること等を目的として、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

<参考：平成26年度訓練内容>

- ・情報受伝達訓練（SNS等の試行訓練を含む）
- ・災害避難訓練
- ・屋内消火栓放水訓練及び消火器訓練
- ・煙体験、起震車体験
- ・応急手当・搬送実技訓練、心肺蘇生法実技訓練
- ・災害用地下給水タンク操作訓練



<ヘリによる救助訓練デモンストレーション>

＜事業執行状況＞

1. みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会

災害時情報受伝達体制の強化、帰宅困難者対策の推進、防災意識の啓発などを中心に検討を進めた。検討成果については、3月開催予定の合同防災訓練等に反映しながら検証することとしている。

- ・第1回委員会 7月28日（火）
- ・第2回委員会 9月11日（金）
- ・第3回委員会 10月19日（月）
- ・第4回委員会 12月7日（月）
- ・第5回委員会 2月5日（金）
- ・第6回委員会 3月14日（月）

2. 帰宅困難者対策の推進

地区内の各施設が連携・共同して帰宅困難者対策を推進するための、当地区独自の仕組みづくりに向け、ワーキングを設置し、検討を開始。

- ・第1回検討ワーキング 10月9日（金）
- ・第2回検討ワーキング 11月17日（火）
- ・第3回検討ワーキング 2月23日（火）（帰宅困難者支援施設運営ゲーム）

3. ヘルプカードの発行

- ・外国人対応の意思疎通カード（ヘルプカード）を発行し、パシフィコ横浜、ホテル、観光案内所等、地区内・外の各所に配布。（5月）

4. 関係機関との調整

- ・行政との連携方策について関係所管部署との協議・調整。
- ・「都市再生安全確保計画」について、関係機関との意見交換・協議。

5. 合同防災訓練、防災講演会の実施

- ・防災講演会の開催。（2月）（講師：名古屋大学 廣井准教授）
- ・第21回みなとみらい21地区合同防災訓練の実施（雨天のため一部）。地区内連携した帰宅困難者受入訓練を初めて実施。（3月）

○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

◇みなとみらい21地区における交通対策等の検討

4,000 千円

【 企画調整部 】

地区内の利便性、回遊性向上による賑わい創出等に向けた交通対策の検討を行います。

平成 27 年度は、横浜市の駐車場条例の改正に合わせ、附置義務駐車台数緩和のための地域ルールを策定するとともに、ルール運用のための運営組織を立ち上げます。

また、みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、地区内においてシームレスな次世代交通ステーションの整備促進に向けた検討を行うほか、国内外からの来街者の増加や利便性の向上を図り、観光バスの受け入れの検討を進めます。



＜ ベイバイクとあかいくつ ＞

＜事業執行状況＞

- ・ 条例改正に合わせ、附置義務台数原単位緩和のための「地域ルール」(地区別基準)を、市が策定することとなった。(4月)
- ・ この適用を受けられるよう、地区内の施設の用途別床面積の詳細な調査を実施するとともに、駐車場の稼働状況の調査を実施。(5月～10月)
- ・ 条例改正案が可決。(2月)
- ・ 引き続き、地区別基準の策定に向け、緩和幅の検討などを市等と調整。(3月)

◇駐車場案内システム協議会の運営

—

【 企画調整部 】

平成 26 年度に引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

＜事業執行状況＞

- ・ 入口案内板の撤去完了(希望する施設管理者分)。(5月)
- ・ システムを安定的に運営していくための会費算定基準の改正、及び規約の見直しについて、担当者会を2回開催し、協議・調整。(5月～7月)
- ・ 第21回総会 7月27日(月)
 - ・ 平成26年度決算報告及び平成27年度予算案について
 - ・ 規約・規定の改正について

◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査

4,500千円

【企画調整部・事業推進部】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

また、平成27年度は、来街者の居住地等の属性や回遊パターン等の調査等を実施するなど、将来の街の賑わいや利便性向上、来街者や進出企業の増加に向けた検討を進めます。

<事業執行状況>

- ・今年度の来街者調査について、関係部署と調整を実施。(7月～9月)
- ・「来街者調査」及び「進出企業調査」に着手、現地調査等を実施。(10月～11月)
- ・年間来街者数等の調査とりまとめ。横浜市より記者発表。(～3月)
- ・来街者について、居住地等の属性に関する調査をあわせて実施。(3月)

○街づくりの誘導・調整、情報発信

◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

3,000千円

【企画調整部】

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定のより適切な運営や、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら、戦略的な街づくりを進めるための方策等の検討を行います。

平成27年度は、都市管理項目等をはじめとして、社会情勢に応じた見直しを進めるとともに、基本協定冊子のデータ更新等を行います。

<事業執行状況>

- 各街区開発や暫定利用、屋外広告物等について、各種調査を実施。(4月～9月)

1 みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会

- 第1回委員会 4月23日(木)

- ・55-2街区 横浜歯科技術専門学校MM55-2街区計画
工事計画、仮囲いデザインについて
- ・59街区B (仮称) MM59街区B区画開発計画
色彩・外装計画、外構・植栽計画、夜間照明計画(建物頂部)について
- ・みなとみらい21街づくり基本協定第8条都市管理項目の見直しについて
- ・暫定土地利用
57街区マンションギャラリーについて
- ・屋外広告物
26街区 クロスゲート壁面懸垂幕について
- ・グランモール公園の再整備工事スケジュールについて
- ・みなとみらい21インフォメーション vol.86について

○第2回委員会 10月2日(金)

- ・32街区 (仮称)みなとみらい21 32街区プロジェクト/オフィス計画
工事計画(事務所棟)について
- ・46街区 (仮称)横浜野村ビル
色彩・外装計画について
- ・55-2街区 横浜歯科技術専門学校MM55-2街区計画
色彩・外装計画、外構・植栽計画、 commonspaceのしつらえ・内容について
- ・59街区-A (仮称)オーケーみなとみらい本社ビル開発計画
色彩・外装計画、外構・植栽計画について
- ・みなとみらい21街づくり基本協定第8条都市管理項目の見直しについて
- ・暫定土地利用に関する規準の運用について
- ・暫定土地利用
57街区 本町小学校第二方面校(仮称)新築工事について
- ・グランモール公園の再整備工事 後期工事スケジュールについて
- ・みなとみらい21中央地区20街区 MICE 施設整備事業について
- ・さくら通り植栽工事について

○第3回委員会 3月28日(月)

- ・32街区 (仮称)みなとみらい21 32街区プロジェクト〔住宅棟〕
commonspaceのしつらえ・内容、アクティビティフロアのしつらえ・内容、
サイン計画、パブリックアートについて
- ・32街区 (仮称)みなとみらい21 32街区プロジェクト/オフィス計画
色彩・外装計画について
- ・55-2街区 横浜歯科技術専門学校MM55-2街区計画
アクティビティフロアのしつらえ・内容、サイン計画について
- ・59街区-A (仮称)オーケーみなとみらい本社ビル開発計画
commonspaceのしつらえ・内容、アクティビティフロアのしつらえ・内容、
サイン計画、パブリックアートについて
- ・駐車場条例の改正について

2 みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会 専門部会

みなとみらい21街づくり基本協定第8条都市管理項目をはじめとした見直しの方向性、賑わい形成のあり方等について討議。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・第1回専門部会 4月23日(木) | ・第7回専門部会 10月22日(木) |
| ・第2回専門部会 5月28日(木) | ・第8回専門部会 11月26日(水) |
| ・第3回専門部会 6月19日(金) | ・第9回専門部会 12月24日(木) |
| ・第4回専門部会 7月23日(木) | ・第10回専門部会 1月28日(木) |
| ・第5回専門部会 8月27日(木) | ・第11回専門部会 2月25日(木) |
| ・第6回専門部会 9月24日(木) | ・第12回専門部会 3月24日(木) |

■件数実績

(1)承認通知書発行件数		(4)屋外広告物（バス停、パシフィコ横浜、その他）	
・街づくり行為	9件	・バス停広告	122件
(2)暫定土地利用		・動く歩道横断幕	33件
・申請件数	2件	・動く歩道フラッグ	84件
・届出件数	24件	・クイーンズ橋フラッグ	21件
(3)屋外広告物 （テナントサイン等）		・その他	82件
・申請件数	2件	（街灯フラッグ、MM駅連絡地下通路広告、 案内広告 等）	
・届出件数	45件		

◇「みなとみらい21インフォメーション」等の改訂

2,500千円

【企画調整部】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい21インフォメーション（冊子及び映像）」等を制作します。平成27年度は、映像のダイジェスト版も含め、最新の状況に改訂等を行います。また、マスタープランのデータ更新等を行います。

<事業執行状況>

- ・今年度の構成内容について関係部署と調整、制作着手。（6月～9月）
- ・「みなとみらい21インフォメーション（冊子、DVD）」制作完了。（3月）

◇みなとみらい21エリアマネジメント活動の紹介

2,000千円

【企画調整部・事業推進部・総務部】

社団で取り組んでいるさまざまなエリアマネジメント活動を一般にわかり易くビジュアルで紹介する冊子を制作します。

<事業執行状況>

- ・当社団で取り組むエリアマネジメント活動の参考とするため、他地区で行われているエリアマネジメント活動の事例集作成に向け、関係者と協議。（5月～9月）
- ・事例調査。（～3月）

◇みなとみらい21アートな街づくり情報の発信

—

【企画調整部】

平成26年に、地区内のパブリックアートなどを散策するためのパンフレットやウェブページを制作し、情報を発信しました。平成27年度はウェブページの内容更新を行います。

<事業執行状況>

- ・平成26年度パンフレット作成以降の新たなパブリックアートを更新してウェブサイトに掲載。（12月）

◇エリアマネジメント活動助成事業

5,000 千円

【 事業推進部 】

年2回、当地区内でエリアマネジメントに資する活動を行う団体を募集し、有識者による選考委員会と会員企業による公開選考委員会の審議を経て、資金を助成する活動団体を決定し、助成します。平成25年度から最大50万円まで助成可能な「みらいコース」に加え、最大5万円までの小額助成コース「みなとコース」を新たに設け、より応募しやすい仕組みを導入して新規応募者の開拓を進めています。平成27年度は、ホームページを親しみやすくリニューアルするなど、応募件数の増加をはかります。

また、平成26年度採択した助成団体が活動成果について発表し、相互に交流するための場として、助成活動成果報告会を開催します。

<参考：27年度第2次募集 助成団体と提案概要>

◆ みなとコース

事業名	内容
・第6回みなとみらい秋まつり	出店、ステージショー等住民主催による秋まつりの実施。

◆ みらいコース

事業名	内容
・ハマのパークキャラバン IN 高島中央公園 2015	遊びながらテント設営等の災害体験をするイベントの実施。
・「よこはま国際フェスタ 2015」世界フード体験企画	世界のフードを体感し、国際協力・多文化共生を学ぶイベントの実施。
・みなとみらいの食と人をつなぐ部活動	食を通じて地域コミュニティの形成を目指す料理教室の実施
・“世界の子どもたちに笑顔を届ける！ぬいぐるみ”	ぬいぐるみを作成して地区内に展示し、世界の子供達に寄贈。
・リレーフォーライフジャパン 2015 みなとみらい	がん征圧や交流を行うチャリティイベントの実施。

<事業執行状況>

- ・平成27年度第1次募集 みらいコース（上限50万円）4件の活動に対し、助成金1,838千円を交付。（4月）
- ・平成26年度エリマネ助成事業活動報告会を開催。（5月）
- ・平成27年度第2次募集の公開選考会を開催し、みなとコース（上限5万円）1件、みらいコース（上限50万円）5件の活動に対し、助成金2,051千円を交付。（10月）
- ・平成28年度第1次募集実施。（11月～2月）
- ・平成28年度第1次募集公開選考会を実施。（3月）
- ・平成28年度に向け、ホームページをリニューアル。（3月）

◇街づくり調整委員会（部会）の開催

100 千円

【 企画調整部 】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

<事業執行状況>

1 街づくり調整委員会

- ・第1回委員会 11月19日(木)
 - ・平成27年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について
- ・第2回委員会 3月23日(水)
 - ・平成28年度事業計画(案)について

2 街づくり調整部会

- ・第1回部会 7月31日(金) (環境対策部会と合同で開催)
 - ・今年度の街づくり調整委員会・街づくり調整部会の体制、スケジュール(案)、主な取組項目について
 - ・地震対策の推進について
 - ・交通対策等の検討について
 - ・みなとみらい21街づくり状況の各種調査について
 - ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランについて
- ・第2回部会 9月25日(金) (環境対策部会と合同で開催)
 - ・地震対策の推進について
 - ・みなとみらい21街づくり状況の各種調査について
 - ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランについて
- ・第3回部会 12月21日(月) (環境対策部会と合同で開催)
 - ・地震対策の推進について

○ みなとみらい21地区の土地の公募業務

◇土地公募業務

1,000千円

【企画調整部】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、事務局としての業務とともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会を開催します。

<事業執行状況>

- 横浜市から、43、53、54、55-1、56-1、60・61・62街区の開発事業者公募業務を受託し、開発事業者募集説明会を開催(26社参加)するとともに、ホームページに公募情報を掲載。(8月)
- 応募のあった54街区1件、56-1街区2件、60・61・62街区3件の事業提案について、調査分析を行い、横浜市に結果報告。(12月～3月)

環境対策事業

16,000 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、環境未来都市としての取組を推進します。

○ 環境未来都市の実現に向けた取組

みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、環境未来都市の実現に向け、『エネルギー』、『グリーン』、『アクティビティ』、『エコ・モビリティ』の各分野のプランの実施や新たなプロジェクトの検討など、行政や大学等の関係者と連携して取組を推進します。また、この地区における環境への取組について、積極的に情報発信を行います。

◇ エネルギーシステムの自立強化に向けた検討

4,000 千円

【 企画調整部 】

地区全体のエネルギーマネジメントを推進するための仕組みづくりを進めるとともに、再生可能エネルギーや、新たな技術、システム、サービス等の先導的導入に向け、災害時にも対応した自立分散型エネルギーシステムに関する検討・調整を進めます。

< 事業執行状況 >

- ・「2050 プロジェクト・アクションプラン」を具体的に推進するため、今後の進め方について関係部署と協議。(4月～7月)
- ・「同プラン」については、『エネルギー』をはじめ、『グリーン』、『アクティビティ』、『エコ・モビリティ』の各分野のテーマ別に、環境対策部会・街づくり調整部会員によるプロジェクトチームを組織し、具体的な検討を進めることとして、メンバーを募集。(9月～10月)
- ・プロジェクトチームごとの検討会開催。
「グリーン」「イベント」「ICT」「エコ・モビリティ」の各プロジェクトチームを各5回、計20回、「エネルギー」プロジェクトチームは3回開催。(11月～3月)
- ・プロジェクトチームの検討成果を活かして「ヨコハマ未来モビリティ展」を開催。(3月)
- ・平成27年度の総括として「合同プロジェクトチーム」を開催。(3月)

◇ 水環境向上及び生物多様性に関する取組

6,000 千円

【 企画調整部 】

平成26年3月から「きれいな海づくり」を目指し、横浜市やNPO法人と連携して汽船道沿い護岸に「実験場」を設置し、水質浄化及び生物多様性に関する取組を進めています。

水質の改善やアマモの発芽・育成、生物の生息種類数の増加等が確認され、また、当地区ならではの生物多様性に関する取組として報道等にも採り上げられるなど、本事業の成果が徐々に顕れてきています。

27年度は、引き続き、生物生息環境の保全、生物多様化・水質改善状況等の観測を続け、

地区内就業者等への周知・意識啓発を進めるとともに、事業の成果等を積極的に情報発信していきます。

また、今後の本取組の拡充・展開方策についても関係者と連携して検討・調整を進めます。



〈アマモの播種〉



〈アマモの移植〉

〈事業執行状況〉

- ・自動車道沿いに設置した実験場においてアマモの移植を実施（5月15日）、水質及び生物生息状況を計測（5月15日、8月13日）。さらに、会員参加の下、アマモの追加の移植及び播種を実施（10月14日）。
 - *実験場を設置した平成26年3月当初は14種類であった生物の生息種類が、平成27年8月の観察時点では35種類にまで増加するなどの成果を確認。
 - *取組状況及び成果を「東京湾大感謝祭2015」においてブース展示を行い、情報発信。（10月24日・25日）
- ・アマモの生育状況及び水質、生物生息状況を計測。（12月、3月）

◇『緑・花』推進に関する取組

3,000千円

【企画調整部】

グランモール公園再整備については、平成30年春に供用開始が予定されていますが、環境未来都市にふさわしい発信力のある公園となるよう、また、平成29年春に開催が予定されている全国都市緑化フェアに向けて、効果的な連動が図られるよう、引き続き調整を図ります。

また、みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、「まちかどの緑」プロジェクトの実施調整や、『緑・花推進のガイドライン』の作成を進めます。

〈事業執行状況〉

- ・グランモール公園の再整備について、サイン計画、工事計画等の調整実施。（7月～9月）
- ・「まちかどの緑」プロジェクト実施に向け（美術館横等）、関係者と協議・調整。（4月～10月）
- ・全国都市緑化フェアの実施内容について協議・調整。（10月～3月）

◇地域緑のまちづくり事業

500 千円

【 企画調整部 】

みなとみらい21地区にふさわしい緑化等を地域ぐるみで進めるため、横浜市からの助成を受け、中央地区、新港地区及び横浜駅東口・中央地区の3地区において協議会を立ち上げています。引き続き各協議会において、地域緑化計画に基づき、公共施設緑化及び民有地緑化整備を進めます。

また、平成27年度は地区内の緑などの生態系の状況をまとめた冊子を制作します。

<参考>

- ・24年度設立 中央地区 グランモール公園を中心とした緑化計画
- ・25年度設立 新港地区 新港中央広場を中心とした新港地区の緑化計画
- ・25年度設立 横浜東口・中央地区 みなとみらい大橋等の緑化計画



< 新港中央広場 >



< 生物調査の様子 — クシコメツキ >

<事業執行状況>

1 総会

- ・3地区各協議会の総会を開始し、昨年度に実施の事業内容を報告、今年度以降実施予定の事業計画について説明。(6月30日(火)に3地区合同開催)
- ・みなとみらい21中央地区 緑のまちづくり協議会 第3回総会
- ・みなとみらい21横浜駅東口・中央地区 緑のまちづくり協議会 第3回総会
- ・みなとみらい21新港地区 緑のまちづくり協議会 第5回総会

2 生物実態調査について

- ・本事業の維持管理費を活用した生物実態調査として、昨年度の秋・冬調査に引き続き、平成27年度の春・夏調査を実施。(4月～9月)
- ・実態調査を踏まえ、地区内の植物をはじめ各種の生物の状況を紹介する冊子『水と緑の生き物ガイドブック』を制作・配布。(～3月)

○ 環境意識の啓発に向けた取組

◇身近なエコ活動の実施、検討

2,400千円

【 企画調整部 】

各会員が取り組んでいる環境活動を地区全体で情報共有するとともに、みなとみらい21地区ならではの特色があり、多くの会員が参加できるイベント等の各種活動を展開します。

また、みなとみらい21リサイクル推進協議会と連携し、古紙共同回収に積極的に取組、省資源化活動を推進していきます。

平成27年度は、「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動も地区全体として推進するなど、環境意識の向上を図ります。

<事業執行状況>

- ・地区内の施設にライトダウンキャンペーンへの参加を呼び掛け、一斉消灯に参加。(7月)
- ・「アースアワー2016」実施に向けて主催者であるWWFジャパン、及び横浜市関係部署をはじめ周辺事業者と協議。(5月～9月)
- ・最先端の環境技術とアートを融合する「スマートイルミネーション横浜2015」の開催にあわせ、新港地区において連携プログラム「スマートライトパレード」を当社団として実施。(10月)
- ・自動車道において取り組んでいる水環境向上及び生物多様性に関する取組状況をブース展示により情報発信。(再掲、10月)
- ・「アースアワー2016」実施。(会場：桜木町駅前広場イベントスペース、地区内参加施設37)(3月)



< スマートライトパレード「GINGA」の様子 >

【企画調整部】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

＜事業執行状況＞

1 環境対策委員会

- ・第1回委員会 11月19日（木）
 - ・平成27年度上期の事業執行状況及び今後の予定について
- ・第2回委員会 3月23日（水）
 - ・平成28年度事業計画（案）について

2 環境対策部会

- ・第1回部会 6月15日（月）
 - ・今年度の委員会及び部会の体制、スケジュール（案）等について
 - ・「みなとみらい2050プロジェクト・アクションプラン」について
 - ・「水環境向上及び生物多様性に関する取組」について
 - ・平成27年度「CO₂削減／ライトダウンキャンペーン」へのご協力について
 - ・「エネルギー使用の実態調査」について
 - ・「東京湾大感謝祭」について
 - ・身近なエコ活動の実施、検討について
- ・第2回部会 7月31日（金）（街づくり調整部会と合同で開催）
 - ・「みなとみらい2050プロジェクト・アクションプラン」について
- ・第3回部会 9月25日（金）（街づくり調整部会と合同で開催）
 - ・「水環境向上及び生物多様性に関する取組」について
 - ・「東京湾大感謝祭」について
 - ・「アースアワー2016」について
 - ・「みなとみらい2050プロジェクト・アクションプラン」について
- ・第4回部会 12月21日（月）
 - ・水環境向上及び生物多様性に関する取組について
 - ・生物多様性調査について
 - ・「アースアワー2016」について
 - ・全館ライトアップ「TOWERS Milight」のグリーン電力証書について
 - ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランについて



＜東京湾大感謝祭 出展ブースの様子＞

◇地区内の清掃活動の実施

【 事業推進部 】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月1回、公園愛護会制度を利用した「グランモール公園」の定期清掃（参加者数概ね100名）、ハマロードサポーター制度を利用した「桜木町駅前広場」の定期清掃（参加者数概ね15名）、みなとみどりサポーター制度を活用した「汽車道・運河パーク」の定期清掃（参加者数概ね15名）を実施します。



＜ 桜木町駅前での定期清掃の様子 ＞

＜事業執行状況＞

- ・ グランモール公園の定期清掃を実施。（毎月1回）
- ・ 桜木町駅前広場の定期清掃を実施。（毎月1回）
- ・ 汽車道・運河パークの定期清掃を実施。（毎月1回）

文化・プロモーション事業

50,150 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

○ 情報発信

◇インバウンド（訪日外国人）対応

4,000 千円

【 事業推進部 】

訪日外国人旅行者数の増加、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催等の状況を踏まえ、地区内各施設と協議しながら、外国人向け案内パンフレットなど、外国人来街者に対応するためのツールの制作を進めます。

<事業執行状況>

- ・5月パシフィコ横浜で開催されたアジア栄養学会議向けにグルメマップを作成、配布。
- ・シンクタンクにコンサルティング委託、エリア内の長所・短所、課題等を議論し、次年度に向けたアクションプラン方向性を共有。（3月）

◇ウェブによる情報発信

8,150 千円

【 事業推進部・企画調整部 】

平成26年度にフルリニューアルした「みなとみらい21公式ウェブサイト」について、良く見られる記事の分析やPCとスマホでの情報の棲み分けなどを行い、主要な情報発信ツールとして更に強化して行くと共に、動画コンテンツの活用を図ります。また、平成26年度に制作した「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」のダウンロードを促進します。一方で、「みなとみらい21地区街づくりサイト」の情報も充実させていきます。



< みなとみらい21公式ウェブサイト >



< YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ >

<事業執行状況>

- ・公式ウェブサイト改修管理。（昨年7月の全面リニューアルによりPV数はリニューアル前後1年間で340%増加）
- ・みなとみらいエリアアプリリニューアル。（11月）
- ・公式ウェブサイトリニューアル。（3月）
- ・街づくりサイトリニューアル。（3月）
- ・外国人向け英語サイト制作。（3月）

◇広報誌による情報発信

8,000千円

【事業推進部】

・社団タイアップページ買い取り

平成27年度も、街のフリーマガジン『mirea（ミレア）』（「みなとみらい21SP推進委員会」にて制作費一部負担）のページを買い取り、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。また、今年度より、「みなとみらい21公式ウェブサイト」、「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」への誘引を図るO2O（オフライン・トゥー・オンライン）企画にも取り組みます。



<フリーペーパー mirea >

<事業執行状況>

- ・『mirea』に下記のとおりタイアップ記事を掲載。（隔月15万部発行）

5月号／外へ出て、空の下でおいしい時間

（地区内公共空間を中心に休憩・ランチスポット紹介）

7月号／ようこそ、夏の横浜・みなとみらいへ

（夏のイベント特集）

9月号／やっぱり秋は食べ倒れ&みなとみらいで音楽を楽しむ

（地産地消の名店紹介、音楽の楽しみ提案）

11月号／横浜みなとみらいナイトストーリー、大人の贅沢な休日 1Dayトリップ

（冬クリスマス特集）

1月号／ぬくもる冬のやさしい時間

（鍋料理特集）

3月号／気持ちがほっこりするおいしいパンとスープ
(お昼ごはん特集)

◇PR活動の実施

5,500 千円

【 事業推進部 】

平成 27 年度は、広域からの来街誘引を図るべく、夏休み・クリスマス時期に、ポスターやチラシ等の広報 PR 情報について、都内を中心とする交通系メディアの活用に取り組みます。

<事業執行状況>

- ・ニュースリリース、ニュースレターを発行。(随時)
- ・夏のイベント特集ポスターを東急電鉄に掲出。(8月)
- ・観光モチベーションの動画・ポスターを作成。(12月)
- ・広域に向けたエリアプロモーションの一環として、都内にポスター掲出枠購入。(12月)
- ・クリスマス期に地区内エリアを空撮。(12月)
- ・スマートホン・携帯電話の位置情報を用いた来街者調査実施。(3月)

◇地区プロモーションの調整

6,000 千円

【 事業推進部 】

多様な集客施設が集積するみなとみらい21地区の魅力を面的に訴求する活動を継続し、集客エリアとしての当地区の競争力を維持・向上することを目的に、平成 27 年度も引き続き「みなとみらい21SP推進委員会」に参画し、来街者に向けた地区プロモーションを行います。

<事業執行状況>

- ・みなとみらい21SP推進委員会に参画。(毎月)

○ 賑わいの創出

◇公共空間の利活用

7,000 千円

【 事業推進部 】

平成 25 年度に発足した「みなとみらい21公共空間活用委員会」により、平成 27 年度も、公開空地や桜木町駅前広場、グランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施して行くと共に、グランモール公園では、「グランモール公園縁市」を平成 27 年度も実験的に開催します。

また、平成 26 年度、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取り組みとしてクイーンズサークルで実験的に実施した「みなとみらい STREET MUSIC」では、多数のミュージシャンから応募があったことから、平成 27 年度も、これを継続します。また、平成 26 年度に2回開催した桜木町駅前広場でのストリートライブも内容を更に充実させて実施します。



〈みなとみらい STREET MUSIC〉



〈公共空間活用委員会による オープンカフェ〉

＜事業執行状況＞

- ・みなとみらい21公共空間活用委員会を開催し、オープンカフェなど公共空間の利活用を促進。(4月、6月、8月、11月、1月、2月)
- ・ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する事業として、「みなとみらい STREET MUSIC」を開催。(6月、7月、9月、11月、12月、3月)
- ・地区イベント「桜木町 ekihiro サマーライブ」(7月)、「桜木町 ekihiro クリスマスライブ」(12月)において「みなとみらい STREET MUSIC スペシャル版」として拡大実施 (※地区イベントにて再掲)
- ・「みなとみらい STREET MUSIC」において出演者による自主運営ライブ 「Good Sound Live」を開催。(8月、1月、2月)

◇地区イベントの開催

9,500 千円

【事業推進部】

毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」を4月に開催すると共に、春のさくらフェスタ、夏の大盆踊りに引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援します。

また、12月の「TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ～」開催について、参加施設と協議しながら進めます。

また、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会に積極的に参画します。



〈ヨコハマ大道芸 2015 in みなとみらい21〉



〈TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ〉

<事業執行状況>

- ・「みなとみらい21 さくらフェスタ 2015」に参加。(4月：来場者 148,938人)
- ・「ヨコハマ大道芸 2015 in みなとみらい21」を開催。(4月：来場者 540,000人)
- ・桜木町駅前広場活性化委員会にて「桜木町 ekihiro サマーライブ」を実施。
(7月：観客数 900人) 「桜木町 ekihiro クリスマスライブ」(12月：観客数 500人)
(※公共空間の利活用にて再掲)
- ・「みなとみらい大盆踊り」に参加。(8月：来場者 17,500人)
- ・クリスマスイベント(TOWERS Milight～オフィス全館ライトアップ)を開催。
(12月24日)。
- ・春休み期間の新港地区イベント「横浜ベイサイドビューポイントラリー」参画(3月)。
- ・桜木町駅前広場活性化委員会にて「自由演奏会」(3月)を開催。

○ その他

◇歩行者案内地図サインの更新

500千円

【総務部】

当地区には、案内地図サインが70基設置されていますが、新規施設オープンに伴い、桜木町駅前広場等の案内地図サインの更新を行います。

<参考>

- ・横浜市管理の地区内案内地図サイン 59基
- ・当社団管理 5基
- ・その他の民間施設等管理 6基

<事業執行状況>

- ・当社団及び民間施設等で管理している案内地図サインを更新。(9月)

◇ガイドマップの制作

1,300千円

【事業推進部】

新たな商業施設の開業などに合わせ、「みなとみらい21地区ガイドマップ」を改訂・制作します。



< みなとみらい21ガイドマップ >

＜事業執行状況＞

- ・赤いくつバスルート変更に伴い、27年度版 185,000部発行。(5月)
- ・新港4街区施設オープンに合わせ、27年度版 185,000部修正発行。(3月)

◇イベント連絡会の開催

【事業推進部】

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月1回、イベント連絡会を開催します。

＜事業執行状況＞

- ・地区内のイベント等について連携・情報を共有。(毎月1回)

◇インフォメーション担当者意見交換会

100千円

【事業推進部】

施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催します。27年度は、増加する外国人来街者への対応も検討していきます。

＜事業執行状況＞

- ・当地区に関係の深い横浜市実施事業や地区内催事などの情報を共有する会議を開催。(3か月に1回)
- ・外国人案内用に指差しシート作成(英語語、簡体語、繁体語、韓国語、タイ語)(10月)。

◇文化・プロモーション委員会等の運営

100千円

【事業推進部】

当地区のPRや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として年3回開催します。

＜事業執行状況＞

1 文化・プロモーション委員会

- ・第1回委員会 10月22日(木)
 - ・インバウンド、ウェブサイト・アプリ、公共空間活用、みなとみらいかもめスクール、エリアマネジメント活動助成事業、地区イベントについて
- ・上記委員会終了後に会員懇親会開催。(10月)
- ・第2回委員会 3月23日(水)
 - ・28年度事業計画(案)について

会員交流事業

6,900 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供

100 千円

【 総務部 】

地区内で行われるイベントやそれともなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

<事業執行状況>

- ・大規模イベントによる交通規制や地区内イベント情報、当法人の事業関連情報等を会員へ提供。(随時)

◇会員相互交流の機会の創出

2,300 千円

【 総務部 】

会員企業・団体のネットワーク形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、みなとみらい21 賀詞交換会や救命講習会等を開催します。



< みなとみらい21 賀詞交換会の様子 >

<事業執行状況>

- ・普通救命講習会を実施。(11~12月。全2回。)
- ・会員間の交流やネットワークをつくる機会として、みなとみらい21 賀詞交換会を開催。(1月13日(水))

◇みなとみらいかもめ SCHOOL

4,500 千円

【 事業推進部 】

みなとみらい21地区内の就業者を対象として、春学期（4～6月）と秋学期（9～11月）の年2回、就業前あるいは後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。平成27年度も引き続き、平成26年度の実施結果を踏まえて、より多彩な講座を新設し、魅力あるスクールを実施します。



＜ 講座：「都市デザイン」って何？ ＞



＜ 講座：横浜みなとみらいホールのパイプオルガン「ルーシー」の魅力に迫る！ ＞

＜事業執行状況＞

- ・みなとみらいかもめスクール（春学期）全18講座の実施（4月～7月）申込262人
- ・みなとみらいかもめスクール（秋学期）全15講座の実施（9月～11月）申込208人
- ・平成28年度かもめスクール講座内容の検討（11月～1月）
- ・平成28年度かもめスクール募集開始（2月）

＜参考：秋学期講座内容＞

講座名	講座名
01 横浜の歴史を知ろう！一馬車道周辺の遺構散策	09 気軽に参加してみよう！「みなとみらい読書交流会」
02 「都市デザイン」って何!? -みなとみらい線のデザイン編-	10 「BUKATSUDO」もふもふ手芸部の丸織りレッスン
03 横浜市中央卸売市場探検隊！	11 「BUKATSUDO」メイクアップレッスン
04 日本郵船歴史博物館&客船「飛鳥II」を見学しよう！	12 MM Beginでお試し！「Bounce! Bounce! Balance!」
05 外国人留学生とお友達になる！	13 「BUKATSUDO」のコーヒーレッスン&持ち寄りランチパーティ
06 グロービッシュ「超」入門！	14 天空の茶室でお茶体験
07 生活に役立つ法律入門講座	15 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！
08 ハマのマナーコンシェルジュによる「実践金融講座」	

横浜都心電波対策事業

49,050 千円

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

◇電波障害対策事業の実施

36,550 千円

【企画調整部】

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

- ・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）
55-2街区ほかの電波障害シミュレーション及び46街区ほかの実態調査
- ・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等
46街区ほか

<事業執行状況>

- ・32-2街区電波障害シミュレーションの実施（7月～8月）
- ・46街区電波障害事前調査の実施（8月～9月）
- ・46街区電波障害対策工事等（1月～3月）

◇横浜都心電波対策協議会負担金

12,500 千円

【企画調整部】

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費及び平成27年度に実施する開発者負担金ルールの係数の見直し（3年ごとに実施）のための調査経費として負担金を支出します。

「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、開発者負担金の取扱いについては、引き続き協議を進めます。

その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

<事業執行状況>

1 総会・代表者会

- ・第19回総会・第31回代表者会 7月14日（火）
 - ・平成26年度事業報告及び決算・会計監査報告について
 - ・会則等の見直しについて
 - ・平成27、28年度代表者会委員及び役員の選任について
 - ・平成27、28年度運営委員会委員の委嘱について

2 運営委員会

- ・第1回運営委員会 7月2日(木)
 - ・平成27年度運営委員会委役員の選出について
 - ・第19回総会・第31回代表者会への付議事項について
- ・第2回運営委員会 8月27日(木)
 - ・みなとみらい21地区32街区「(仮称)MM21-32街区オフィス計画の件」
電波障害対策範囲策定調書(案)・開発者負担金算定調書について
- ・第3回運営委員会 12月3日(木)
 - ・開発者負担金ルール係数見直し(案)について
- ・第4回運営委員会 3月24日(木)
 - ・平成28年度事業計画(案)及び予算について

(◆横浜都心電波対策協議会の運営補助業務)

—

広告・イベントスペース等の運用事業

60,000 千円

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

60,000 千円

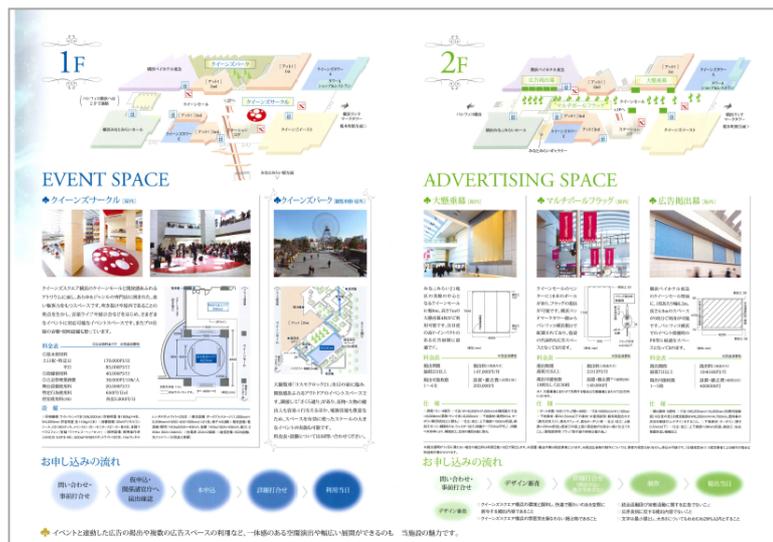
【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、平成 26 年度に制作した広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、利用率向上に取り組みます。



＜ クイーンズサークルでのイベントの様子 ＞



＜ 広告・イベントスペースご利用ガイド ＞

<事業執行状況>

- ・クイーンモール1階及びステーションコア地下3階の一部を店舗スペースとして貸付け。
- ・クイーンモール2階「みなとみらいギャラリー」の運営、モール内イベントスペース「クイーンズサークル」、商業サイン等（フラッグ、大懸垂幕等）掲出スペースの貸付け等を実施するとともに、利用率向上のための取組みについて検討した。
(クイーンズサークルの利用率は、昨年度同期比(4月～3月)で+6.5%となっている。)